

夏休みを有意義なものに

もうすぐ夏休みが始まります。高校3年生には、「天王山の夏」*と言われる夏休み。1年生・2年生にとっても、まとまった時間が取れる夏休みは、苦手科目の克服や、得意科目を伸ばすのに格好の機会。この時期を有効に活用してください。!(^^)!

学年の先生方や、各教科の先生方からも、すでにいろんなアドバイスを聞いていると思いますが、ここでも、夏休みの過ごし方について、いくつかのポイントを紹介したいと思います。

*天王山は、京都府大山崎町にある、山の名前。1582年の「山崎の戦い」で、水陸交通の要地の天王山を、先に占領したのが羽柴秀吉。その彼が、明智光秀を破り勝利を収めた。この故事により、勝負を決める分岐点のことを、「天王山」と言い、また、そのような天下分け目の勝負のことを「天王山の戦い」と言う。



主に3年生の皆さんへ 1・2年生も読んでください

受験に向け、だれもが「本気」になる夏休み。ここで基礎を固めることが、受験勉強の大きな節目になります。一度しかない高3の夏、悔いが残らないように全力を尽くしましょう!

<基礎固めこそが入試対策>

「砂上(さじょう)の楼閣(ろうかく)」という言葉があります。「砂の上に築かれた建物」の意味から、「不安定で崩れやすいもの」の意味で使われる言葉です。「土台がしっかりしていなければ、その上にどんなに立派なものを築いても、結局無駄になってしまう」という意味です。

勉強にも同じことが言えます。「土台」となる基礎基本に不安を抱えたまま、「入試問題演習」に取り組んでみても、決して実力は、積み上がりはしません。

いつも同じことを言いますが、受験勉強という特別なものがあるわけではありません。あるとすれば、それは本人の意識の中にだけ存在します。やるべきことは、これまでに習った内容で、自分の理解の足りない点・間違った点を、確実に理解して使える知識にしていくことです。それこそが、まぎれもない入試対策なのです。



先輩たちも、**自分の弱点をしっかり固めたことが、秋以降の実力アップの決め手になった**と報告してくれています。入試まであと半年、合格までのステップを、焦らず、確実に上っていきましょう。

次に、いくつかのポイントを、チェックリストの形で紹介します。自分の取り組みを確認してみてください。

<学習への取り組み方のポイント>

- 自分の実力・弱点をきちんと把握できているか
- できなかった問題・間違った問題の見直しをしているか
- 何を使って、苦手分野の勉強をするのか、決めているか
- 夏休みの、おおまかな予定が立っているか

<学習計画を立てるときのポイント>

□夏の時期を大きく四つに分けて考える

7月下旬 8月上旬 8月中旬 8月下旬

□自分のすべき課題（苦手分野）をリストアップしておくこと
それぞれの時期に、「いつ」「何を」するのかを考えていこう。

□予備の時間・日を作ろう

1日・1週間・夏休み全体の予備の時間の設定を。

例えば、午後10時から予定を空けておく。その日にできなかったことを、その時間帯にする。そうすると、計画に追いつけられずに、自分が計画を追いかけることが出来ます。!(^^)!

1週間のうち1日は予備日をつくるなど、計画の遅れを取り戻すことのできる時間を用意しておきましょう。

□予定を詰め込みすぎないこと

本気でやっているのに、その予定がこなせないのなら、それは、その計画が悪いのです。自分の学習のペースをつかんで、最後まで走りぬくことのできる、無理のない予定を立てましょう。

□生活時間の固定と学習開始時間の固定

起床・夕食・就寝時間の固定と、早めの学習開始時間の設定。

生活リズムが固定すると、勉強の時間も固定してきます。また、自分が集中して取り組める時間帯を探して取り組みましょう。



主に1・2年生の皆さんへ



期末考査が返ってきました。テストでは、クラスや学年全体での「順位」が出ますが、そんな「順位」や、「平均点」と比べて、点が取れたとか取れなかったとかということよりも、日ごろの自分の勉強の姿勢を、見直す機会としてほしいと思います。テストの点数は、自分の取り組みを映す「鏡」です。

大事なのは、テストのあとの振り返り。やるべきことは、大きくは二つ。

□ あいまいな知識を見直そう！

できなかった問題、あいまいな知識を見直して、使える知識にしておきましょう。

□ 日ごろの時間の使い方を見直そう！

ふだんの学習の進め方、時間の使い方を振り返ること。「予習」—「授業」—「復習」の、学習サイクルは、確立しているでしょうか。

高校1年生にとっては、初めての夏休み。この夏休みをどう過ごすのかが、今後の高校生活に大きく影響します。2学期には、進路選択の第一歩、類型選択が行われます。自分の進むべき方向がはっきりしていない人も多いかもしれませんが、「総合的な探究の時間」や進路ホームルームでの学習内容を参考にして、自分の興味関心や、将来の夢について、じっくりと考えてみてください。

高校2年生にとっては、進路実現の高校3年生まで、あと半年です。10月には、高校生活の折り返し点を迎えます。将来の自分の進路目標を見つめて、今の時期から、着実に学習を積み重ねていきましょう。